

2024 なよろ経済ミニ情報



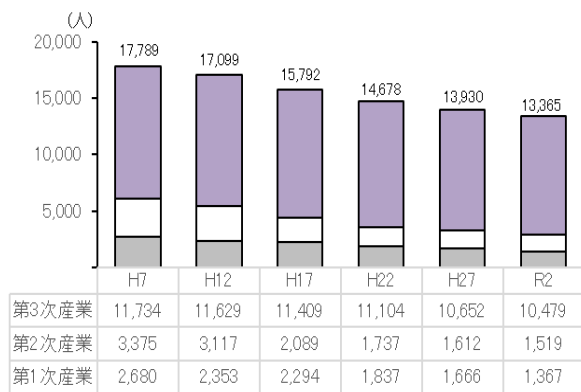
名寄商工会議所

産業構成

①産業別就業者数の推移

平成7年以降、名寄市全体の産業就業者数は減少傾向を続けており、産業全体で平成7年に比べ令和2年では24.9%減少している。

産業別で平成7年と令和2年を比較すると、第1次産業では49.0%の減少、第2次産業では55.0%の減少、第3次産業では10.7%の減少となり、特に第2次産業である建設業・製造業の減少が大きい。



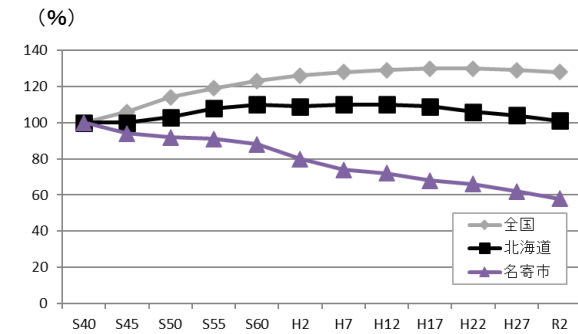
(資料①②～国勢調査)
※データは全て新名寄市(旧名寄市と旧風連町合算)の数値

人口

①名寄市・全国・全道の人口推移比較

名寄市の人口推移を、昭和40年を100%とし、全国・全道の推移と比較すると、全国では年々増加し、その後横ばい、北海道では昭和60年まで増加し、その後はほぼ横ばいで推移する中、名寄市においては昭和55年までは大きな変化は見られなかったが、昭和60年以降減少し続け、令和5年では昭和40年より約45%減少の25,481人になった。

また、住民基本台帳では、平成18年に旧名寄市と旧風連町の合併により、人口が31,515人となるが、平成21年30,898人、平成24年29,956人と3万人を割り、平成27年28,633人、平成30年27,582人、令和3年26,663人と現在も減少傾向は続いている。



(資料～令和2年度国勢調査)
※データは全て新名寄市(旧名寄市と旧風連町合算)の数値

②令和2年度産業別就業者状況

名寄市の就業状況を産業別に、全国・全道と構成比で見ると、特に第2次産業が全国に比べ低く、製造業では4.2%と全国から見ると約4分の1程度である。

また、第3次産業では、全国・全道より高く、公務割合が15.9%と全国の3.6%、全道の5.5%を大きく上回り、全国から見ると約5倍である。

就業実数(人)		名寄市	北海道	全国
就業者数		13,365	2,282,831	55,901,573
第1次産業		1,367	156,298	1,962,762
第2次産業		1,519	387,947	13,259,479
	うち建設業	880	200,263	4,184,052
	うち製造業	620	186,086	9,056,536
第3次産業		10,479	1,738,586	40,679,332
	うち卸売・小売業	1,928	371,504	8,805,576
	うち飲食・宿泊業	720	139,039	3,095,434
	うち医療・福祉	2,072	352,247	7,633,170
	うち公務	2,121	126,505	2,032,199

同上構成比(%)		名寄市	北海道	全国
就業者数		100.0	100.0	100.0
第1次産業		10.2	6.8	3.5
第2次産業		11.4	17.0	23.7
	うち建設業	5.9	8.8	7.5
	うち製造業	4.2	8.2	16.2
第3次産業		78.4	76.2	72.8
	うち卸売・小売業	14.4	16.3	15.8
	うち飲食・宿泊業	5.4	6.1	5.5
	うち医療・福祉	15.5	15.4	13.7
	うち公務	15.9	5.5	3.6

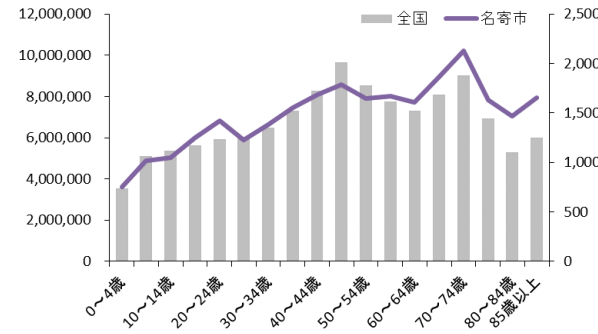
②名寄市・全国の年齢別人口構成

名寄市の令和2年の年齢別人口構成を全国と比べると、ほぼ同じ傾向である。70～74歳の人口が多く、25～34歳の年齢層が減少している。

名寄市の3階層別で見ると、生産年齢人口(15～64歳)が全体の56.8%、年少人口(0～14歳)10.5%、老年人口(65歳以上)32.7%である。

また、令和4年の状況は生産年齢人口(15～64歳)が全体の56.1%、年少人口(0～14歳)10.7%、老年人口(65歳以上)33.2%であり、年少人口率が低い中、生産年齢と老年人口率を合わせると89.3%と、総人口の減少に併せて更なる高齢化が進むことが予想される。

今後も、名寄市及び全国においても、少子高齢化対策が今以上に重要な課題になると考えられる。

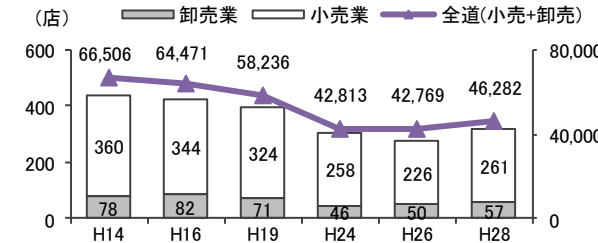


(資料～令和2年度国勢調査)

商業

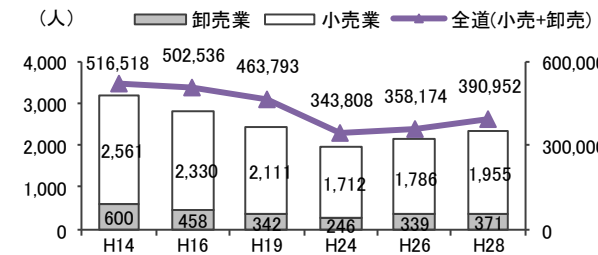
①商店数の推移

近年事業所数は減少の一途を辿っていたが、平成26年から平成28年にかけては全道・名寄市ともに増加。飲食サービス業の多様化傾向の影響が、卸売・小売の開業を助長したと考えられる。



②従業員数の推移

平成24年以降は商店数の増加に伴い、徐々に回復傾向にあるが、現在道内企業の後継者不在率は70%を超え、全国でも上位に位置し、今後大幅な減少傾向になることは必至である。



納税状況(国税)

①所得税の推移 (データは国税庁統計情報より)

平成27年以降増加しているが、大きな税制改正はなかったため、所得税の申告納税者が増加したことが要因と考えられる。名寄税務署管内ではコロナ給付金による増加が見られた。道ではコロナ給付金では足りない企業が多く、減少傾向となっていたが、令和3年に大きく増加している。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
名寄税務署	922	913	925	859	882	905	909
全道	83,343	89,760	93,988	91,440	87,570	83,576	104,202

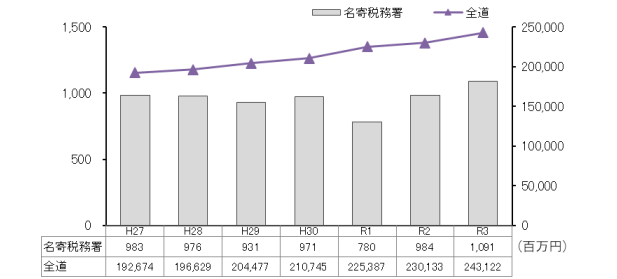
②源泉所得税の推移

平成22年の年少扶養控除廃止以降、税制改正はなく微増傾向にある。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
名寄税務署	2,478	2,590	2,616	2,570	2,587	2,613	2,664
全道	331,980	335,794	359,976	365,965	357,668	364,509	375,218

③法人税の推移

平成27年以降道は増加傾向にあり、名寄市は高止まりの状態であったが、令和元年に急激な減少が見られた。欠損申告や赤字法人等の増加なども要因と思われる。

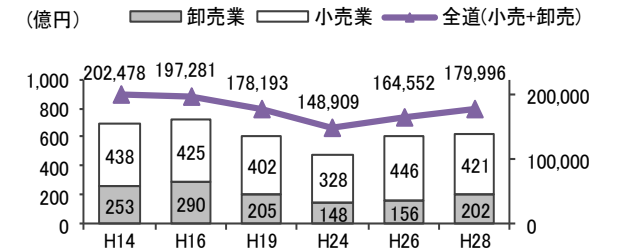


③年間商品販売額の推移

平成28年は全道・名寄市ともに10年前の水準までに回復してきている。平成23年東日本大震災による一時的な落ち込みがあったものの、内需を喚起する国の経済対策や量的・質的金融緩和による景気の引き上げが背景にあると考えられる。

また平成26年4月から税制改正による消費税増税も年間の販売額増加の要因と考えられる。

今後は令和元年10月に施行された消費税増税分の底上げや、キャッシュレスポイント還元事業の影響による消費促進などにより増加することが予想される。

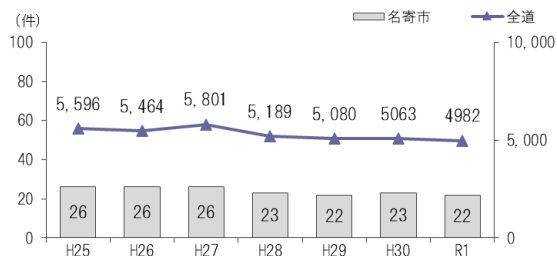


(資料①②③～経済産業省商業統計調査)
※平成28年は確報値になります。
※データは全て新名寄市(旧名寄市と旧風連町合算)の数値

工業

①工業数の推移

全道・名寄市ともに推移は横ばい。北海道はもともと総生産に占める製造業の比率が低いという課題を抱えているが、その製造業、とりわけ食品加工に関連する企業が減り続けている。



②工業数の産業別構成(令和元年)

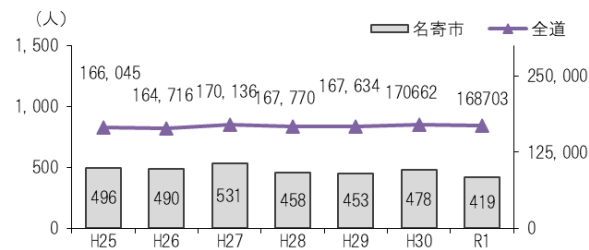


(資料①②③④～令和元年度工業統計調査確報[北海道])
※データは全て新名寄市(旧名寄市と旧風連町合算)の数値

③従業員数の推移

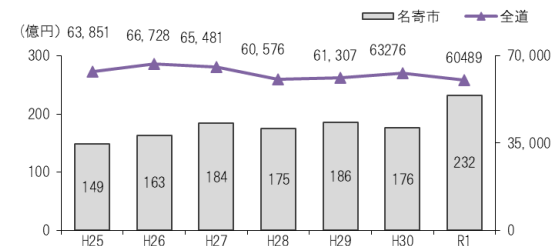
工業数の推移と同じく横ばい傾向。だが地方において雇用の場が失われていく中で、都市部への流出の影響は否めない。名寄市においても、同様の傾向は見られる。

令和3年12月の王子マテリア名寄工場の生産停止による従業員数の大幅な減少が懸念される。



④製造品出荷額の推移

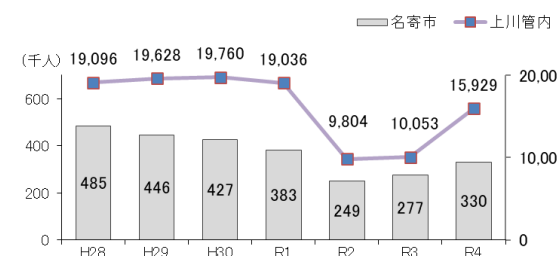
企業数・従業員数の推移に比例し、ここ数年は水準を保っている。令和元年では、名寄市の出荷額が大幅に増加となったが、令和3年12月の王子マテリア名寄工場の生産停止による出荷額の大幅な減少が懸念される。



観光

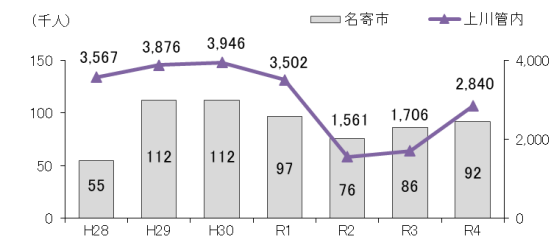
①観光入込数の推移

新型コロナウイルス感染症による移動制限が緩和されたことや、観光イベントが開催され始めたことなどから、いずれの項目についても前年度から観光入込客数が増加した。



②宿泊客延数の推移

新型コロナウイルス禍の行動制限がなかったことにより、日帰り・宿泊問わず観光客数が増加した。また、令和2年・3年に中止していたイベントの再開、全国旅行支援などの観光促進政策等により、宿泊客数を押し上げた。



(資料①②～上川支庁管内観光入込客数調査結果)

住みよさランキング 2023年北海道 7位

住みよさランキングとは

東洋経済新報社が1992年から独自に算出しているもので、4つの観点に分類し、全国各市区をランク付けしたものです。名寄市は全国812市区(特区除く)中、昨年の152位から231位と順位が引き下げられ、北海道では7位に位置しました。北海道1位は帯広市になりました。

2023年名寄市の項目別全国ランキング

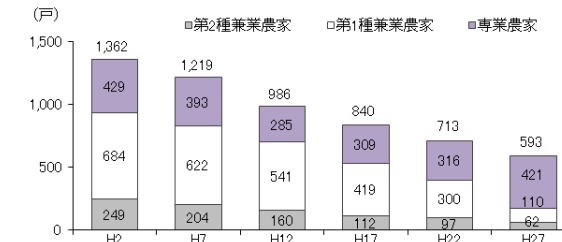
- データ上位** (全国815市区)
- 「月平均最低気温」・・・1位
※マイナス14.6℃と全国市区中最も寒い。
 - 「千人当たり交通事故件数」・・・20位
※人口千人あたりの事故件数が0.63件と少ない。
 - 「人口1人当たりの都市公園面積」・・・22位
※人口1人当たりの公園面積が58.1㎡と広い。
 - 「小売業1人当たりの販売額」・・・27位
※小売業1人当たりの年間販売額が149.4万円と高い。
 - 「人口1人当たり地方債残高」・・・31位
※1人当たりの地方債が97.9万円と多い。

- データ下位** (全国815市区)
- 「年平均気温」・・・815位
※年平均気温が5.8℃と全国市区中最も低い。
 - 「通勤時間(持家世帯)」・・・809位
※通勤時間平均が11.8分と短い。
 - 「可住地人口密度」・・・804位
※指数は132.9人/K㎡と少ない。
 - 「就業人口比率(第2次産業)」・・・802位
※第2次産業で就労する割合が11.1%と低い。
 - 「水道料金(1ヶ月)」・・・791位
※1ヶ月当たりの水道料金が5,950円と高い。

農業

①農家戸数の推移

担い手の減少や高齢化が進み、農家戸数が平成2年から平成27年の間に全体で769戸減少し、特に第1種兼業農家が574戸と減少が大きい。また、令和2年には473戸となっており、さらなる減少が進んでおり、後継者問題などの課題が懸念される。



②経営土地種類別面積

		H17	H22	H27	R2
実農家(実経営体)数		879	747	625	503
耕地	田	面積 5,606.53	5,516	5,407.99	4,871
	農家数	745	605	509	354
	畑	面積 4,211.85	4,689	4,577.9	5,219
	農家数	808	642	369	378
樹園	面積	10.16	8	8.85	14
	農家数	10	8	8	7
一戸当り耕地		11.2	13.7	15.97	20.9

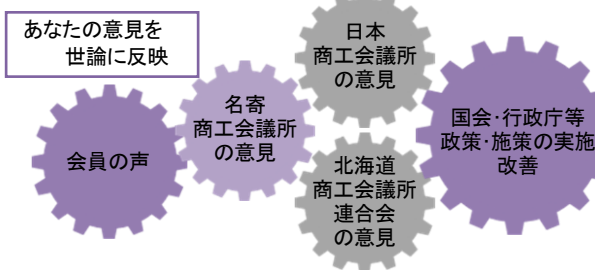
(単位: 戸・経営体、ha)

(資料①②～農林業センサス)
※データは全て新名寄市(旧名寄市と旧風連町合算)の数値

商工会議所の事業

商工会議所とは

商工会議所は【商工会議所法】に基づいて設立された特殊法人で、業種・業態・規模の大小を問わず地域すべての商工業者の利益をはかるとともに、広く社会福祉の増進に資することを目的に活動する公共的性格をもつ、地域唯一の総合経済団体です。

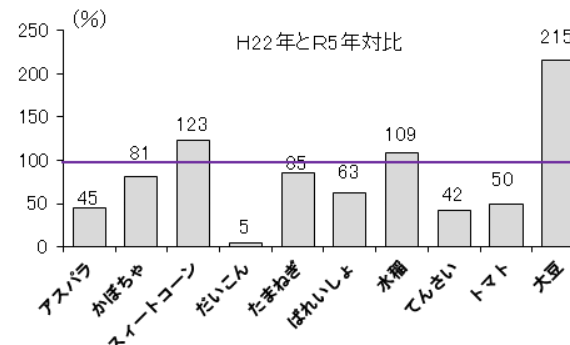


商工会議所の主な事業

- 地域発展の為に国・道・市への意見・要望活動
- 各種経済調査、企業経営に関する調査・統計
- 簿記、販売士などの能力検定試験
- 各種共済制度・福利厚生
- 金融・税務・経営・労働・取引等の相談指導
- 地域振興事業
(名寄地区全市連合大売出し、各種セミナー、青年部活動)
- ご当地検定「なよけん」 <http://cci.nayoro.biz/kentei/>
- 名寄のしごと企業情報 <http://cci.nayoro.biz/job/>
- なよろガイドブック「寄るかいウォッチ」 <http://cci.nayoro.biz/watch/>
- 企業検索サイト「名寄ビジネスサーチ」 <http://cci.nayoro.biz/business/>

③名寄市の主な農作物の作付面積

主な農産物	作付面積 (ha)	
	H22	R5
アスパラ	176	79
かぼちゃ	565	456
スイートコーン	255	313
だいこん	9	0.47
たまねぎ	47	40
ばれいしょ	211	133
水稲	3,326	3,638
てんさい	187	78
トマト	4	2
大豆	311	670



(資料③～名寄市農務課調べ)
※グラフはH22年を100%として比較。

経営に関する相談指導

中小企業相談所では、経営指導員等を配置し、窓口での相談の他、企業に向かいでの巡回相談も行っています。

相談無料！お気軽にご相談を

- 事業資金を借りたい**
- ・国・道・市などの制度融資、資金繰りのたて方についてなど
- 記帳の仕方がわからない**
- ・複式簿記による記帳の仕方、決算書類の作成についてなど
- 新規に開業したい**
- ・創業への各種手続き、国・道・市の支援メニューについてなど
- 従業員を雇い入れたけど**
- ・労働保険への加入手続き、年度更新手続きについてなど
- 確定申告決算書がわからない**
- ・青色申告手続きや申告書の作成方法、年末調整についてなど
- その他**
- ・事業計画の立て方、経営戦略について、などなど

2024 なよろ経済ミニ情報

発行: 名寄商工会議所
096-0001 名寄市東1条南7丁目
TEL 01654-3-3155 FAX 01654-2-0571
URL <http://cci.nayoro.biz/>
E-mail nayocci@hokkai.or.jp